

産地パワーアップ事業の取組事例

(群馬県)

取組の概要

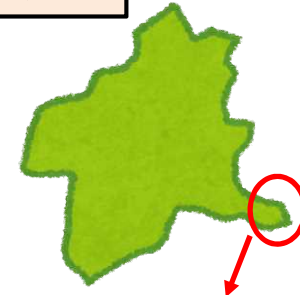
取組の概要 : 朝獲りきゅうりの産地力強化
計画策定主体 : 館林市農業再生協議会
板倉町総合農業振興協議会
対象品目 : 朝獲りきゅうり
(産地面積 : 12.2ha)
主な取組主体 : 朝獲りきゅうり部会員 6名
成果目標 : 朝獲りきゅうり販売額の17.5%増
加(総販売額)
助成金の活用 : 整備事業(生産技術高度化施設)

ポイント

「朝獲りきゅうり」は、新鮮なきゅうりとしてブランド力があり、有利販売を行っている商品である。実需者からの強いニーズにこたえるため、生産の拡大・出荷量の増加を図る。

- 生産技術高度化施設の整備
- エコファーマーの認証取得
- 市場と連携した販路開拓

地区の概要



群馬県 館林市・邑楽郡板倉町
JA邑楽館林朝獲りきゅうり部会

産地の現状と目標

〈現状 : 平成27年〉

作付面積 : 10.7ha(出荷数量 : 2,038t)
販売額 : 6.42億円

〈目標 : 平成30年〉

作付面積 : 12.2ha(出荷数量 : 2,399t)
販売額 : 7.54億円



推進体制

朝獲りきゅうり部会、実需者、群馬県、館林市、板倉町、JA邑楽館林が一体となって出荷量増加に取り組む。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 首都圏に近いというメリットをいかして、早朝に収穫したきゅうりを当日の午後には小売店で販売している。
- 生産者全員がエコファーマーの認証を取得する。
- 実需者ニーズの高い安全・安心な農産物を生産し、出荷量を増加させる。

事業効果

- 低コスト耐候性ハウスを整備することにより、設備導入や修繕費の削減が期待できる。
- 土地利用作物から施設野菜へ転換することにより、高所得を目指す。
- 単位面積当たりの販売額が特に高い朝獲りきゅうり(地域の主要7品目中1位)の販売額を増加する。

～朝獲りきゅうりの販売額～

